

家族の構造と転換

次世代の「製造」、ポストヒューマンの是非を考える

【事前課題】

次の意見を 200 字程度で批判しなさい。批判できない場合、その理由を 200 字程度で記してもよい。

「現時点では、ヒトの次世代の生産は多くの場合、男女からなる家族での生殖・養育活動によってなされている。

しかし将来、次世代の生産様式は、より多様化するであろう。たとえば、①すでに普及している精子・卵子の市場での販売、②生殖（精子・卵子）を必要としないヒト・クローン、③多様な才能をもった複数のヒトの細胞核を混合させたハイブリッド・クローン、④「理想の遺伝子」をもつパーフェクト・ベビーのデザイン、⑤身体の一部に当初から新素材・工学テクノロジーを組み込んだサーボグ化等である。

もとより現時点では、これらの技術はまだ未熟で安全・健康・人権が十分に確保できず、安易な実用化は許されない。しかし今後、科学技術の急速な進展により、新たな次世代創出が実用化されるのは当然である。こうした新たな技術によって生み出された次世代を異端視し、差別・排除するような社会は、絶対にあってはならない。」